



鳥インフルエンザ対策の一例

飼養施設に「ウイルスを持ち込まない」ことが重要です

特に、屋外飼養の場合は①と②、屋内飼養の場合は②に気を付けましょう

1 野鳥や衛生動物(ネズミやハエ)と飼養鳥の接触をさけましょう

野鳥だけではなく、ネズミやハエなどの衛生動物が
鳥インフルエンザウイルスを持ち込むことがあります

特に屋外で
飼養している
方は注意!



☑ できていますか? チェックしてみよう

- ☐ 屋外飼養の場合、可能であれば屋内飼養にする。
- ☐ 飼養施設を点検し、野鳥が侵入できる穴などをふさぐ。
- ☐ 防鳥ネットや柵などで野鳥や野生動物の侵入を防ぐ。
- ☐ ネズミやハエを駆除する。
- ☐ 飲み水やえさに野鳥のふんが入らないようにする。



2 人や物についたウイルスを除去(洗浄・消毒)しましょう

靴底や、手、物品にくっついて飼養施設へ持ち込まれることがあ
ります。来客にも、手指や靴底の消毒等に協力してもらいましょう。
毎日清掃し、飼養施設の清潔を保ちましょう。



☑ できていますか? チェックしてみよう

- ☐ 鳥に触る前、触った後に、手洗いと手指の消毒をする。
- ☐ 飼養施設への出入り時に、靴底の消毒や手洗い、手指の消毒を徹底する。
- ☐ エサ袋やケージなど、外部から持ち込まれた物の表面を消毒する。
- ☐ エサ入れや水入れは洗浄後、消毒する。乾燥させる場合は、外に放置しない。
- ☐ 水やエサは毎日交換し、常に清潔なものを与える。



鳥の健康状態に気を付けましょう

かかりつけの動物病院はありますか?

毎日、鳥の健康状態を確認し、異常が見られたらすぐに
かかりつけの獣医師に相談しましょう。



※鳥インフルエンザを疑うときは、動物愛護センターへご一報ください